

9月  
NO. 195号

昭和46年9月15日

# 八郷広報

発行所

茨城県八郷町木崎真印刷所

町の人口

9月1日現在 菊月比  
男 13,777 △12  
女 14,197 △29  
計 27,974 △41  
世帯数 5,746 △1

## 土浦石岡地方広域市町村圏

### 市町村圏の設定で 広域行政を実施に



このほど土浦石岡地方広域市町村圏が設定されました。  
このほど指定を受けた土浦市、石岡市、八郷町を含めた二市四町四

市町村圏が含まれており、同時に  
指定を受けた水戸地方、鹿行地方、常総地方とともに  
「国土総合開発法」にもと  
づいて、広域行政を進めることになりました。

このほど土浦石岡地方広域市町村圏には  
八郷町を含めた二市四町四

### 自然休養村事業

事業実施は来年度から

各市町村の限られた  
予算での事業では、計  
画的な事業や市町村ご  
とのバラバラな行政し  
かできません。そのよ  
うなところから、市町  
村が共同して広域的な  
計画を立て、それによ  
つて行政を行なおうと  
するものが、広域市町村  
圏設定の目的です。

広域行政を行なうに  
あたって、このほど土  
浦石岡地方広域市町村  
圏協議会では、各市町  
村から専門部会員、事務局  
派遣職員が選任され、今後

の事業の進めたなどが検討されました。今後協議会

では、広域市町村圏の調査  
計画立案などを立て、来年  
度から計画にもとづく事業  
を実施にうつします。主な  
ものとしては、広域的な道

路の整備、観光開発があげ

られます。

されています。

らられています。また、生活

環境施設の整備や消防行政

農業共済事業の広域化の促進

も行なわれることになっ

ており、これらの事業は、

国の援助や独自の予算です

められます。

なります。また、経営者の  
理解と熱意が必要です。

このようなどころから、

次のような条件をあげ地

区の選定を急いでいます。

○自然景観と交通条件に恵

まれていること

○自然と調和した農林業が

### 土地の乾田化へ工事急ピッチ

#### 川又地区は11ヘクタールを

両柄地区 第1工区第2工区  
2.113ヘクタール  
2.113ヘクタール

各地区に実施面積を広げている土地改良事業も、地  
区民の人たちの努力によって着々と実績をあげていま  
す。昨年度から実施にうつされた川又土地改良区、同  
柄土地改良区に加え、あらたに六地区を指定、合計二  
四六ヘクタールの農地を整地するために、すでに工事  
にはいっています。

今月号では、それらの地区的うち川又、両柄の両土  
地改良区をとりあげ、工事規模などをお知らせします

#### 川又土地改良区

理事長 岡崎喜福  
受益戸数 八三戸

事業は、団体営農土地改良  
事業として、国と町の補助  
で総面積三五ヘクタールを  
二年継続事業で行なっています  
ます。すでに昨年度は、二  
四ヘクタールを整地すみな  
ので、本年度は、川又地内  
の県道の西側、川又川流域

約一一ヘクタールを整地し  
ます。

区画割は、標準二〇ア  
ートルごとに、合計六路線  
(総延長七〇〇メートル)  
を設置し将来の機械化に備  
えます。用水は、四十三年  
度に補償工事で設置した、耕  
作道の両側の小用水路に分  
水し、これから取水するこ  
とになります。排水は、川  
又川が改修されていること  
から、幹線排水路はこの  
川又川を利用し、小排水を  
別に設け、川又川の堤防に  
排水管を設置して排水する  
ことになります。当地区は、  
土地が平坦なところから、  
工事は急ピッチですすめら  
れる、予定どおり工事は完成  
する見込みです。



高低差のある土地も平らに整地される 一両柄土地改良区

理事長 石田四郎  
受益戸数 六三戸

単味土地改良事業として  
県と町の補助で、第一工区  
一三ヘクタール、第二工区  
山寺付近の水田は、山間

二・一ヘクタールを定期施  
行で実施しています。山間  
山寺付近の水田は、山間

地帯で、土地改良区域内  
も高差が二二メートルも  
あり、農地の標準区画は、  
川又地区よりも狭く一〇メー  
トル(五〇メートル×二〇メー  
トル)に整地します。

道路は、幹線道路(幅員四  
メートル)は、幹線道路か  
ら各場へ通するもので、  
一〇メートルで、農地の周囲に  
メートル)を設置します。総延  
長は二、三一八メートルに  
なります。

用水は、幹線排水路に揚  
水機場を設置し、パイプラ  
イン方式を探用し、取水口  
を各場へ取りつけかんが  
います。

乾田化するための排水路  
は、幹線排水路(幅員五・  
二メートル)で、道路は、幅員  
一メートル)が、地区内の東側  
に設置され、各区画の排水  
は、小排水路(幅員四メー  
トル、深さ一・三メートル)  
による行なわれます。

なお、昨年度実施した区  
域は、完全に乾田化され  
植えられ、産地化への意欲  
をもやしています。

三ヘクタールほどアドウが  
植えられ、産地化への意欲  
をもやしています。

### 整備する事業

自然環境を保護し、資源

の活用がのぞまれるわけ  
ですが、健全なレクリエーシ  
ョンの場の提供と農業所得  
の向上をめざすというよう

なところから、次のような

事業があげられています。  
(1)自然保護施設の整備事業  
昆蟲、野鳥、魚類などの  
養殖繁殖施設や野生植物の  
育苗施設

(2)レクリエーション施設の  
整備  
ホビーファーミング(趣  
味の農耕を行なうための  
貸農地、貸農園)整備や  
果実もぎとり園施設など

(3)利用施設の整備事業  
遊歩道路、センター施設  
(休憩所、駐車場など)

(4)その他の施設整備事業  
民宿、バンガロー、国民  
宿舎などの施設

これらの事業は、事業主  
体である農協や生産組合が  
統制のとれた事業を行なう  
こととも考えられています。

町では、指定地区が決ま  
りした地域の特性をいか  
した整備事業計画を立て、  
実施にうつします。

なお、事業実施期間です  
が、来年度から三年ないし  
四年で完成するよう事業が  
すすめられます。

### 時間の励行

参會者は開会の五分前に必ず  
集合するようにつとめよう

### 安全は

呼びかけよりも自覚から





